



## 1日目—キリストにつながる

ヨハネ 15 : 1—17

### 執り成しの祈りのヒント

神の命じられることはすべて、神ご自身が実現なさることをおぼえましょう。

ほかの約束についても同じように祈り求めましょう。

- ▶ キリストがわたしの内に実を实らせてくださるお方であることについて、神を賛美しましょう。  
「わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながってなければ、実を結ぶことができない」(ヨハネ 15 : 4)
- ▶ キリストにつながる方法を教えてくださっている神を賛美しましょう。  
「あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい」(コロサイ 2 : 6—7)
- ▶ キリストにつながる方法を教えてくださるよう祈りましょう。  
「武力によらず、権力によらず/ただわが霊によって、と万軍の主は言われる」  
(ゼカリヤ 4 : 6)  
「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである」(ヨハネ 15 : 16)
- ▶ 聖霊の実を結ぶことができるよう、聖霊の注ぎを祈りましょう。  
「その後/わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。……その日、わたしは/奴隷となっている男女にもわが霊を注ぐ」(ヨエル 3 : 1—2 [口語訳 2 : 28—29])  
「すべての点で主に喜ばれるように主に従って歩み、あらゆる善い業を行って実を結び、神をますます深く知るように。そして、神の栄光の力に従い、あらゆる力によって強められ、ど

んなことも根気強く耐え忍ぶように。喜びをもって」(コロサイ 1 : 10—11)

- キリストとつながる必要をより深く理解し、心から願うことができるよう、主の導きを祈り求めましょう。

「わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながってなければ、実を結ぶことができない」(ヨハネ 15 : 4)

「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい」(ローマ 12 : 2)

- 家族や友人がキリストとつながる願いを持ち、そのための必要な学びができるように祈りましょう。

「わたしは彼らに一つの心を与え、彼らの中に新しい霊を授ける。わたしは彼らの肉から石の心を除き、肉の心を与える」(エゼキエル 11 : 19)

「肉に従って歩む者は、肉に属することを考え、霊に従って歩む者は、霊に属することを考えます」(ローマ 8 : 5)

- 教会に真理による一致がもたらされるよう祈りましょう。

「また、彼らのためだけでなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも、お願いします。父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります」

(ヨハネ 17 : 20—21)

「さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一にし思いを一にして、固く結び合いなさい」(I コリント 1 : 10)

- サン・アントニオで開催される第 60 回世界総会のために、そこに集う代議員とそこでなされる決議が導かれるよう祈りましょう。代議員がキリストにつながり、すべてを主にゆだね、すべての決定が聖霊に導かれてなされるよう祈りましょう。

「あなたがたの中で知恵の欠けている人がいれば、だれにでも惜しみなくとがめだてしないでお与えになる神に願いなさい。そうすれば、与えられます」(ヤコブ 1 : 5)

「わたしは、キリストと共に十字架につけられています。生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生き

ているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです」(ガラテヤ2：19—20)

「わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる。この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、受け入れることができない。しかし、あなたがたはこの霊を知っている。この霊があなたがたと共におり、これからも、あなたがたの内にいるからである」

(ヨハネ14：16—17)

- 教会の指導者(あなたの教会牧師、教区、教団、世界総会の指導者)が聖霊に満たされ、キリストにつながるように祈りましょう。

「あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにしておいて自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい」(ローマ12：2)

「なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです」(エフェソ2：10)

「わたしは、キリストと共に十字架につけられています。生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです」(ガラテヤ2：19—20)

- リバイバルと改革についての強調点が、教会員、教区、教団、支部そして世界総会にも広まるように祈りましょう。後の雨における聖霊の注ぎが与えられるように、777の祈りを覚えましょう。

「その後／わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し／老人は夢を見、若者は幻を見る。その日、わたしは／奴隷となっている男女にもわが霊を注ぐ」

(ヨエル3：1—2 [口語訳2：28—29])

- 「大争闘プロジェクト」や「ヒズハンズ」などの伝道活動において蒔かれる種が、素晴らしい収穫をもたらすように祈りましょう。

「つまり、こういうことです。惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです」(Ⅱコリント9：6)

- すべての教会員が、キリストにならい、魂を勝ちとる重荷を感じ、主の導きのもと、個人的な信仰の証しをすることを神が求めているという事実に対して、目が開かれるように祈りましょ

う。

「そこで、弟子たちに言われた。『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい』」（マタイ 9 : 37—38）

➤ 都市伝道のために

東中央アフリカ支部と、その宣教対象都市のために祈りましょう。

キンシャサ、カナンガ、ルブンバシ、ゴマ、（コンゴ民主共和国）、ダルエスサラーム（タンザニア）、アディスアベバ（エチオピア）、カンパラ（ウガンダ）、ロドワー（ケニア）、キガリ（ルワンダ）、マガラ（ブルンジ共和国）、ジュバ（南スーダン）

サタンが破壊され、キリストとの関係が築かれるよう祈りましょう。

「ところで、信じたことのない方を、どうして呼び求められよう。聞いたことのない方を、どうして信じられよう。また、宣べ伝える人がなければ、どうして聞くことができよう。遣わされなくて、どうして宣べ伝えることができよう。『良い知らせを伝える者の足は、なんと美しいことか』と書いてあるとおりです」（ローマ 10 : 14—15）

➤ 個人的な必要など、心のうちにあることについて祈りましょう。

「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず／常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば／主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる」（箴言 3 : 5—6）

➤ 神とつながるための様々な方法を教えてくださっているキリストを賛美しましょう。

「イエスは言われた。『わたしの食べ物とは、わたしをお遣わしになった方の御心を行い、その業を成し遂げることである』」（ヨハネ 4 : 34）

➤ 神があなたの祈りに応えて働かれることを信じ、まず感謝をささげましょう。

「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる」（ヨハネ 15 : 7）

「わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝しよう」

（I コリント 15 : 57）

「わたしたちの内に働く御力によって、わたしたちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできになる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくありますように、アーメン」（エフェソ 3 : 20—21）

祈りの時間の終わりに、祈りのリストにある 7 人のために、2～3 人のグループで祈りましょう。彼らが、イエス・キリストにつながるよう、ヨハネ 14 章 23 節のみ言葉を心に留めて祈りましょう。

「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその

人のところに行き、一緒に住む」。もし、大人数で共有することがためられる祈りの課題があれば、パートナーにそれを打ち明け、祈り合いましょう。

**讚美歌** 「恵み深き主のほか」 (希望の讚美歌 350 番)  
「われは主のものなれば」 (希望の讚美歌 363 番)  
「わが主にすべてを」 (希望の讚美歌 151 番)  
「神の国と神の義を」 (きぼうのせいか 40 番)

### キリストにつながることに关するエレン・G・ホワイトの言葉

「わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながってなければ、実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである」(ヨハネ 15: 4—5)

『わたしにつながっていなさい』との言葉は、非常に大きな意味があります。キリストにつながるということは、愛によって働き、魂を清める、生きた誠実な信仰を意味します。それは、キリストの霊を常に受け続けることであり、キリストへの奉仕のために全的に献身した生き方です。このような結びつきのあるところには必ず良い働きが見られるのです。ぶどうが活着していることは、枝に実った実が放つ香りによって知ることができます。キリストの恵みにとどまることにより、あなたは祝福され、また他者への祝福となり、ついにはパウロと声を合わせて次のように告白するようになるでしょう。『生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです』(Our Father Cares, p.124)

「必要とされているのは、キリストに触れることではなく、主とつながることです。主はご自身とつながるようにと招いています。日々なすべきことに追われる中で、時々熱心に主を求めることによって、少しの間祝福をいただくようにと招いておられるではありません。あなたがキリストとつながるなら、あなたが負わなければならない重荷のすべては軽くなるのです。主がすべての重荷を軽いものとしてくださるからです。あなたが主とつながることができるように、主はすでに備えてくださっています。これは、あなたの心が励まされ力づけられるためにキリストとつながり続けることを、常に覚えている必要があるということなのです。……

キリスト者であることを自称する多くの者と同じように、キリストから離れてはなりません。『わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている』ということは実現可能なこと

です。もしそれが不可能なことであるなら、そのような招きはなされません。わたしたちの救い主イエスは、聖霊によって常にあなたを導こうとしておられ、あなたがご自身とつながることができるように、あなたの心に働きかけておられるのです。……主がお与えになる祝福はすべて、あなた自身の行動と関わりがあります。キリストが拒まれることがあるでしょうか。主はこう言われます。『わたしのもとに来る人を、わたしは決して追い出さない』(ヨハネ6:37)。そしてまた、こうも言われます。『それなのに、あなたたちは、命を得るためにわたしのところへ来ようとしない』(同5:40)」(*In Heavenly Places*, p.55)

「主は、日々の歩みにおいて信仰の証しの光を掲げる男女——キリストがその心に宿り、教え導いておられることが、言葉や行動に現れている男女——を求めていらっしゃいます。また主は、祈りの人である男女、自己との戦いに勝利し、天の力の源から受けたものを分け与えるために出て行く男女を求めておられます」(*To Be Like Jesus*, p.262)

『あなたがたはその実で彼らを見分ける』(マタイ7:20)と主は言われます。真のキリストの弟子は、主のご栄光の実を实らせます。彼らの歩みは、聖霊によって良い働きが彼らの内になされたことを証明しており、そこに実る実は清いのです。彼らの生き方は、高潔で清められています。真の敬虔は、正しい行動という実を必ず実らせます。そして、このような実を实らせることがない人は、神と関わった経験を持ち合わせていないということが明らかです。彼らはぶどうの木につながっていません。イエスは言われました。『わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながってなければ、実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである』(ヨハネ15:4—5)」(*Counsels to Parents, Teachers, and Students*, p. 329)

「枝がぶどうの木につながっていれば、そこから生きた樹液を得て成長することができるように、神を愛し、み言葉を守る人は、主の愛の内にとどまる人です。キリストがいらっしゃらなければ、わたしたちはいかなる罪に勝利することも、最も小さな誘惑を克服することもできません。盲人バルティマイが見えるようになりたいと思ったのと同じように、多くの人はいより深い理解を与えてくださるキリストの霊と力とを必要としています。『ぶどうの枝が、木につながってなければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながってなければ、実を結ぶことができない』。キリストとの真のつながりを持つ人は、必ずその祝福にあずかります。天の父は、愛するみ子にあって彼らを受け入れてくださり、優しく愛に満ちた関心の対象としてくださるので、このようなキリストとのつながりは、心の清め、着実な歩み、そして落ち度のない品性をもたらすものです。キリスト者の木に実る実は『愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔  
6 (1日目)

和、節制です』( *Testimonies for the Church*, vol.4, p.355)

**個人的な考察のための質問：**

1. あなたは、キリストにつながり、キリストがあなたにつながってくださることを、どれほど求めていますか。主とつながることを心から求めることができるよう、神に求めてください。
2. 聖霊があなたの人生を変える働きをしてくださることを妨げているものがないでしょうか。もしあれば、祈りの内にそれらを主のみもとに携え行き、主にゆだねましょう。